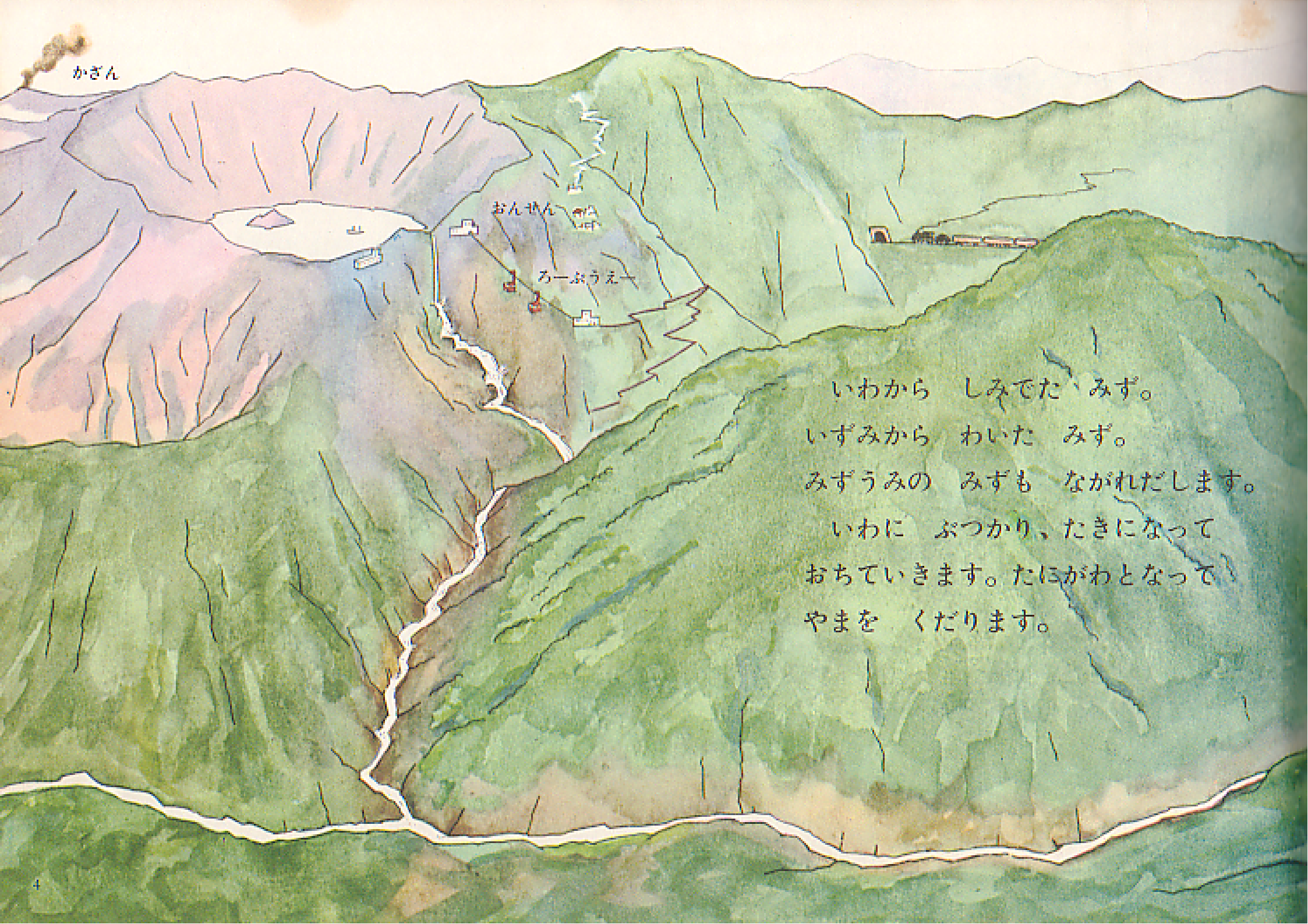


たかい やまに つもった ゆきが  
とけて ながれます。

やまに ふった あめも ながれます。

みんな あつまってきて、ちいさい  
ながれを つくります。



かざん

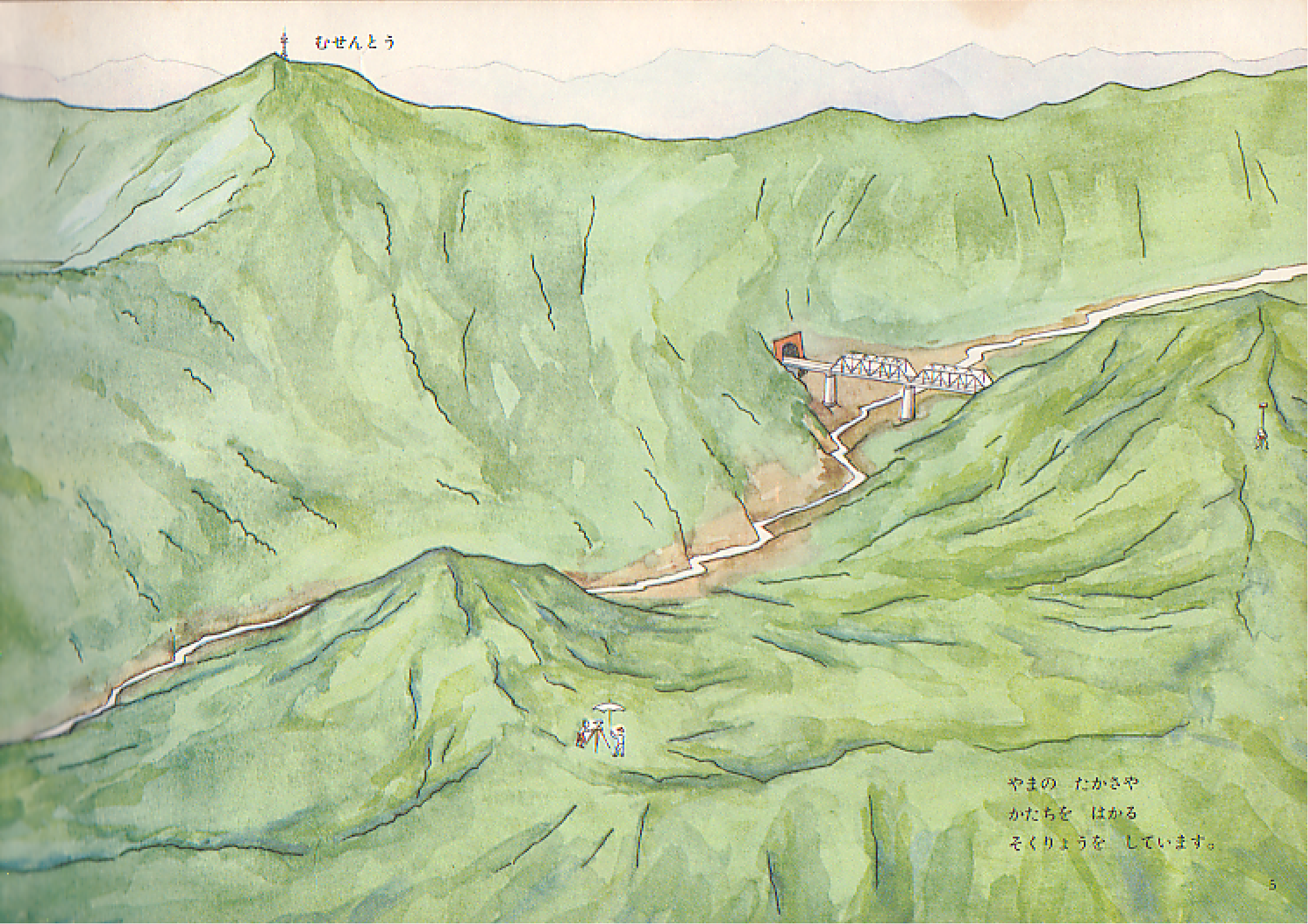
おんせん

みーぶうえー

いわから しみてた、みず。  
いずみから わいた みず。  
みずうみの みずも ながれだします。  
いわに ぶつかり、たきになって  
おちていきます。たにがわとなって  
やまを くだります。

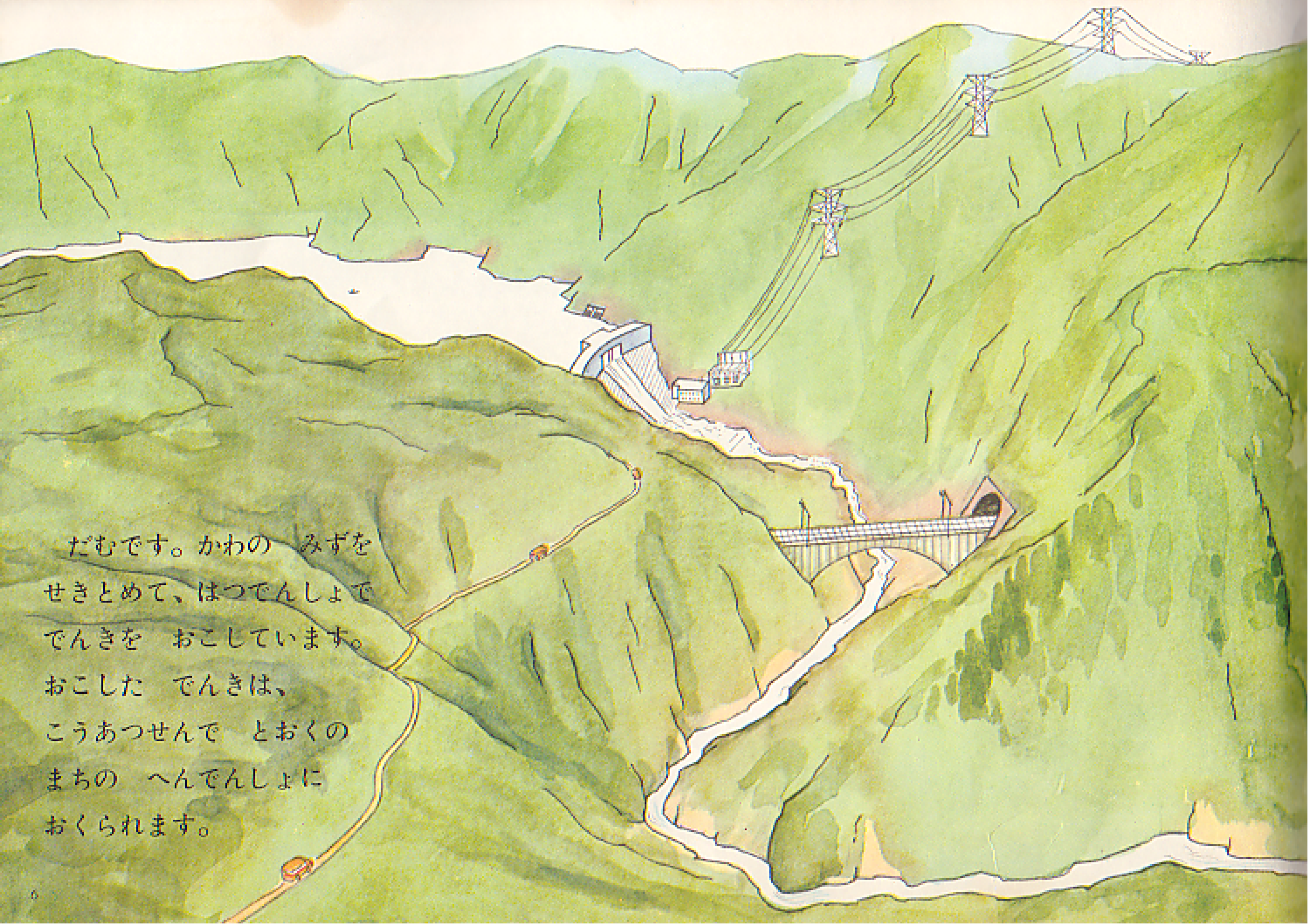


むせんとう



やまの たかさや  
かたちを はかる  
そくりょうを しています。





だむです。かわの みずを  
せきとめて、はつでんしょで  
でんきを おこしています。  
おこした でんきは、  
こうあつせんで とおくの  
まちの へんでんしょに  
おくられます。



さくどう

しゅうざいしょ

さいもくを はこぶ  
しんりんさくどう

やまから きりだされた きは、  
いかだに くまれて、かわを くだります。





すみやき

つりばし

かわは けわしい がけの あいだを  
ながれます。あわを たて、しぶきを  
あげ、うずを まき、おとをたてて  
ながれます。

はげしい みずの いきおいで、  
ごつごつした いわも だんだん まるく  
なります。おしながされて いただけます。  
ぶつかりあって ちいさな いしころに  
なってしまいます。





まちの  
じょうすいじょうへ  
おくる みずの  
とりいれぐち



ちよほくじょう

やまが おわって、ひろい へいやに  
でました。かわは ゆるやかに ながれます。  
むらが 見えます。  
—こうばん、ゆうびんきょく、  
がっこう、すいしゃごや、おみや。  
ばすも はしっています。いぬや  
にわとりも います。はたけを  
たがやす ひと、うまを あらう ひと、  
せんたくする ひと。  
つみくさをする こども、あひるに  
えさをやっている こどもも います。





たうえが はじまっています。  
こううんきや うしや うまで、  
つちを たがやします。  
かわから たんぼへ みずを  
ひいて、いねを うえます。

きんぎょや こいを  
かう いけ



かわが まがりくねって ながれる ところには  
ぬまが あります。みずくさや やなぎが  
たくさん はえ、さぎや かわせみが います。






かわはばが だんだん ひろくなり、  
いしや すなの かわらが つづきます。  
かわぎしでは、おおみずの ときでも  
こわれない じょうぶな ていぼうを  
つくる ことじをしています。



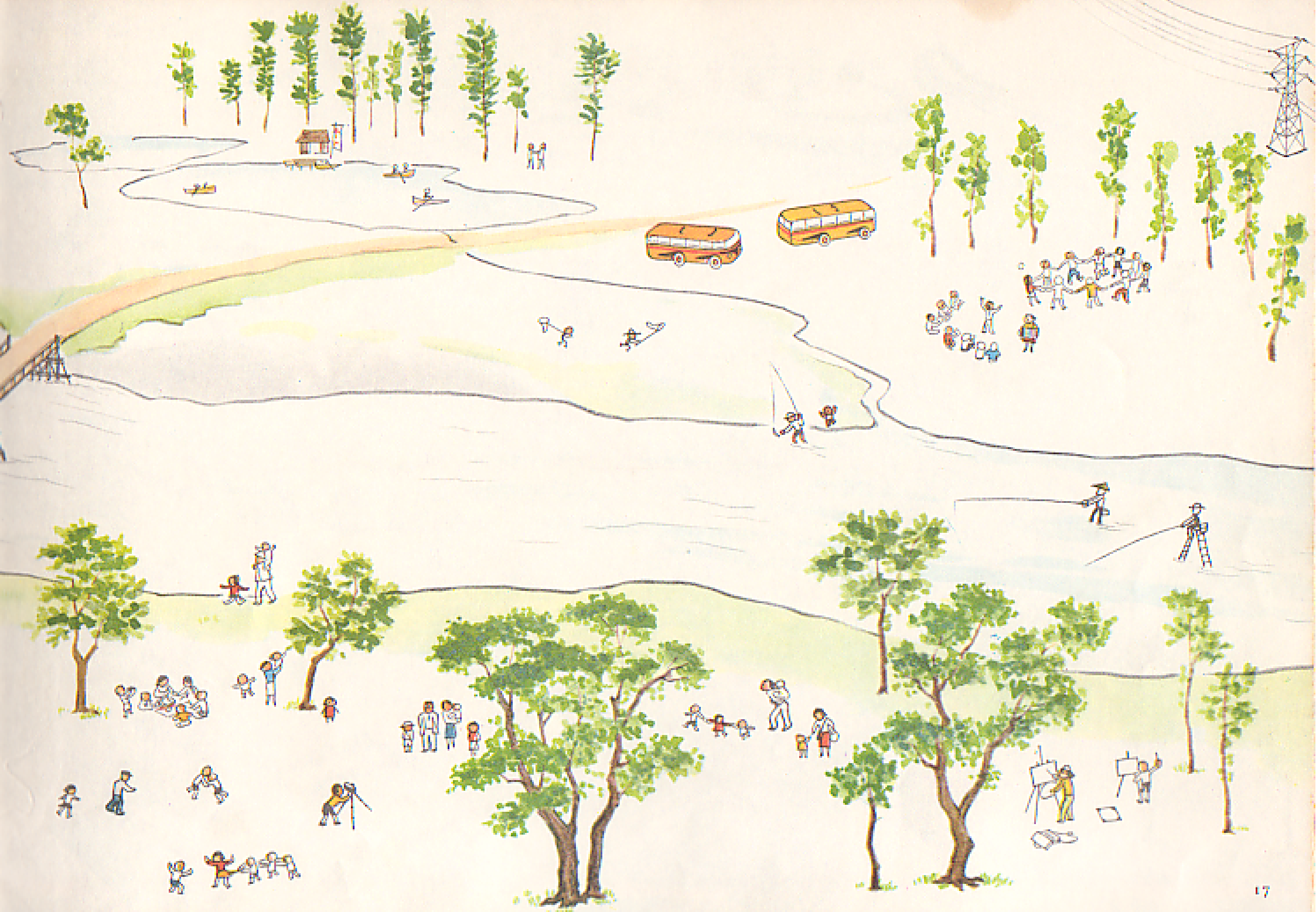


はなをつくる いえには  
おんしつが あります。

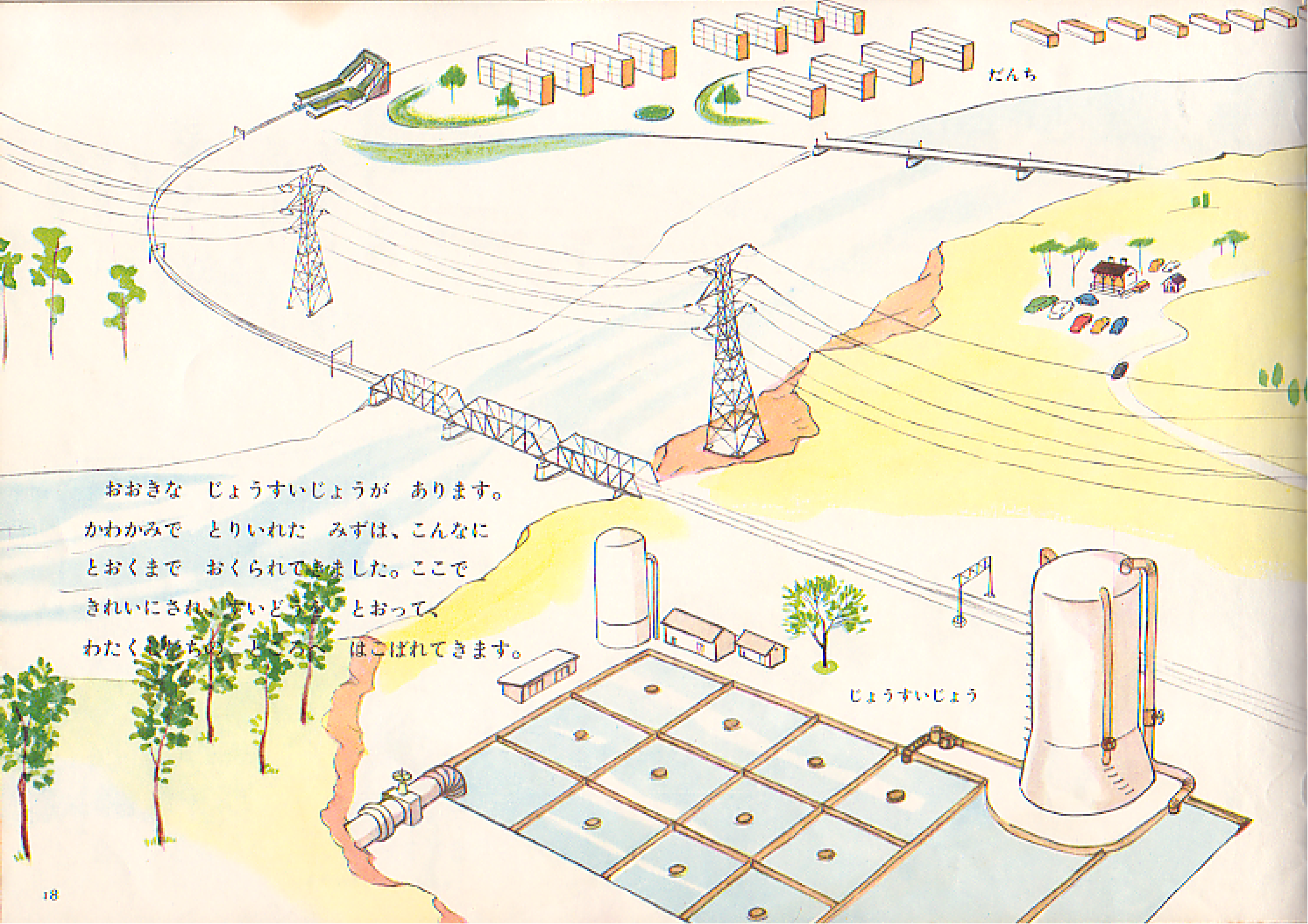
かわの じゃりや すなを ほって、  
とらっくで はこんでいきます。



ひろい かわらの ゆうえんち。  
みんな とても たのしそうに あそんでいます。  
かわでは みずあそびや すいえい、さかなつりも  
しています。さいくりんぐの ひとたちが、どての  
みちを じてんしゃに のって はしっていきます。  
じゃりとらっくが はしってきます。きをつけましょう。



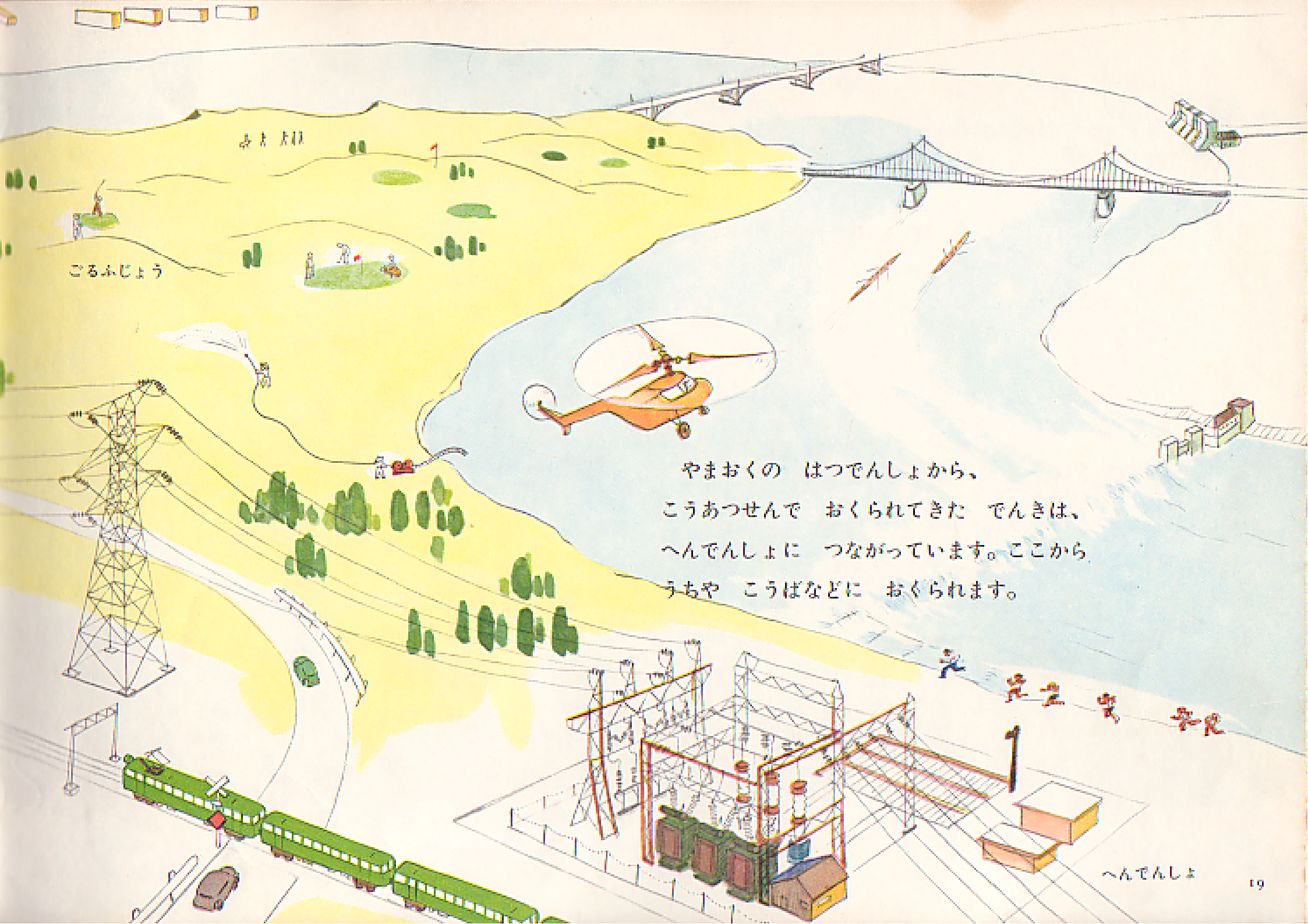




だんち

じょうすいじょう

おおきな じょうすいじょうが あります。  
かわかみで とりいれた みずは、こんなに  
とおくまで おくられてきました。ここで  
きれいにされ、すいどうが とおって、  
わたくしたちの ところへ はこばれてきます。



みどり

ごるふじょう

やまおくの はつでんしょから、  
こうあつせんで おくられてきた でんきは、  
へんでんしょに つながっています。ここから  
うちや こうばなどに おくられます。

発電所

へんでんしょ

そっこうじよ

びじゆつかん

ふーる

まちが ちかくなりました。  
かわはばは とても ひろくなり、  
ながれも ゆるやかになりました。  
すいちゆうよくせんや  
もーたーぼーとが すごい すびーどで  
はしっていきます。

しゆんせつせんは、かわかみから  
ながされてくる すなや どろを  
すくいあげて、かわが あさく  
なるのを ふせいでいます。

すいちゆうよくせん

しゆんせつせん



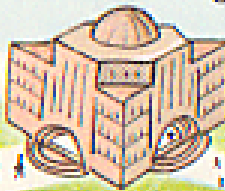


やきゅうじょう

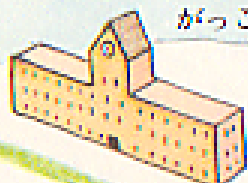
しゆんせつせん



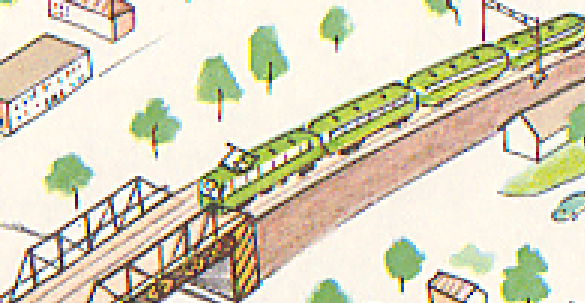
としょかん



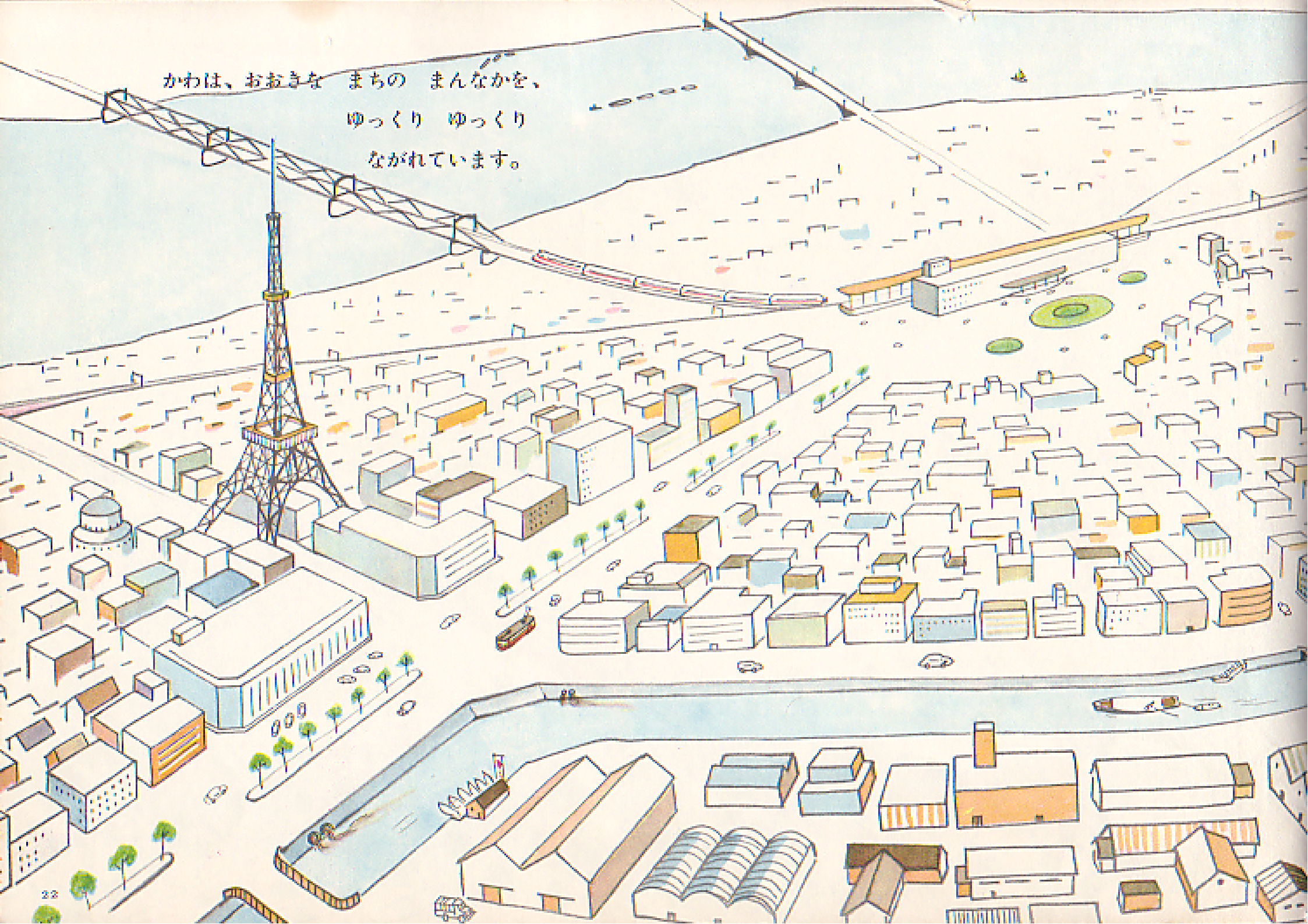
がっこう

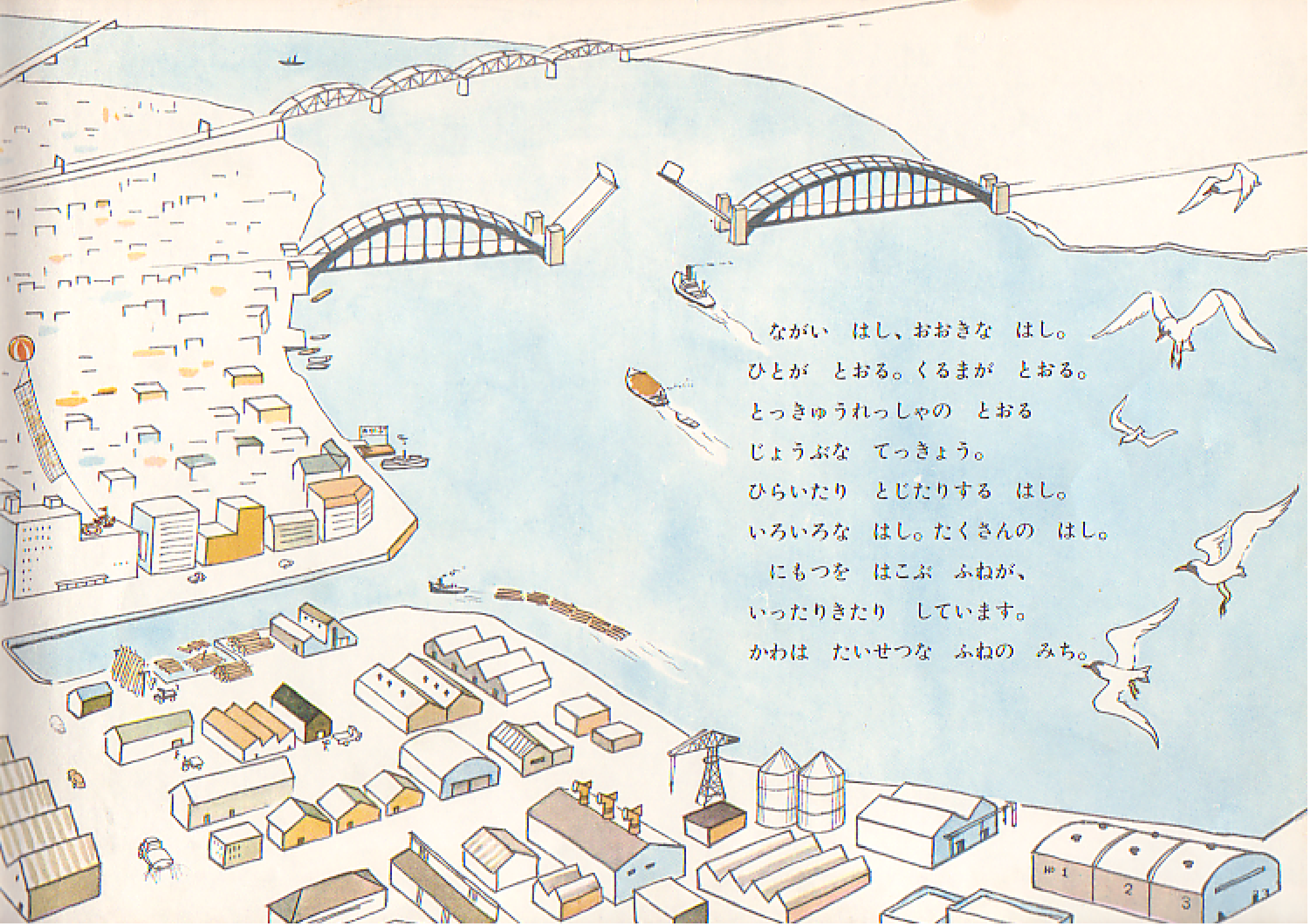


びょういん



かわは、おおきな まちの まんなかを、  
ゆっくり ゆっくり  
ながれています。





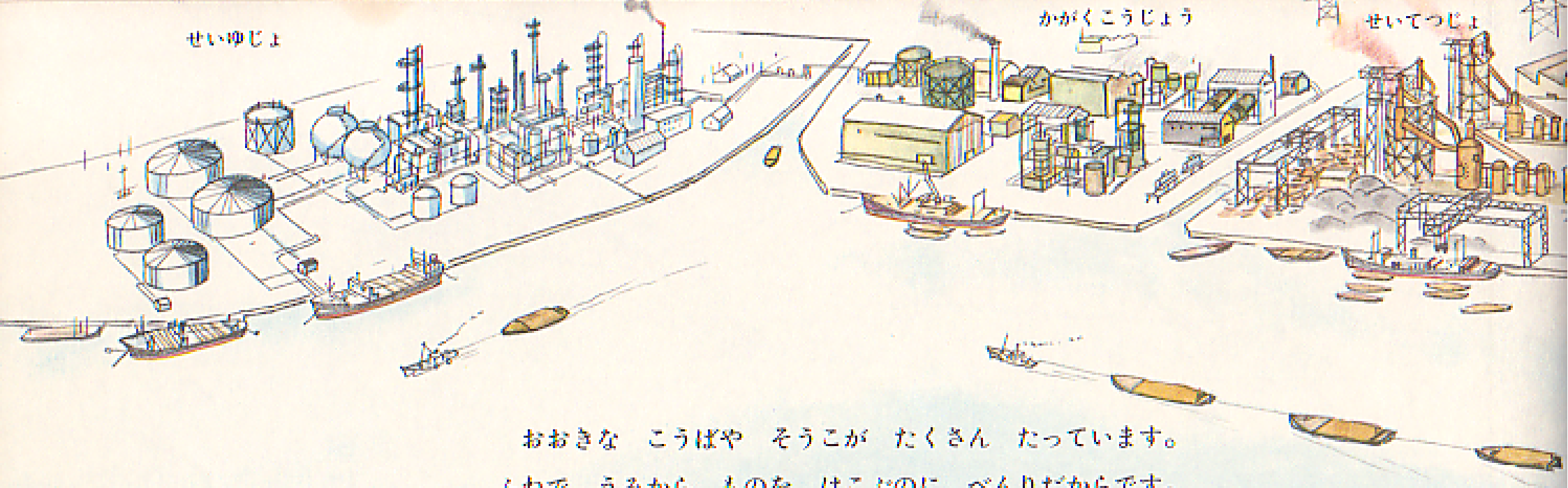
ながい はし、おおきな はし。  
ひとが とおる。くるまが とおる。  
とつきうれっしゃの とおる  
じょうぶな てつきょう。  
ひらいたり とじたりする はし。  
いろいろな はし。たくさんの はし。  
にもつを はこぶ ふねが、  
いったりきたり しています。  
かわは たいせつな ふねの みち。



せいゆじよ

かがくこうじょう

せいてつじよ



おおきな こうばや そうごが たくさん たっています。  
ふねで、うみから ものを はこぶのに べんりだからです。

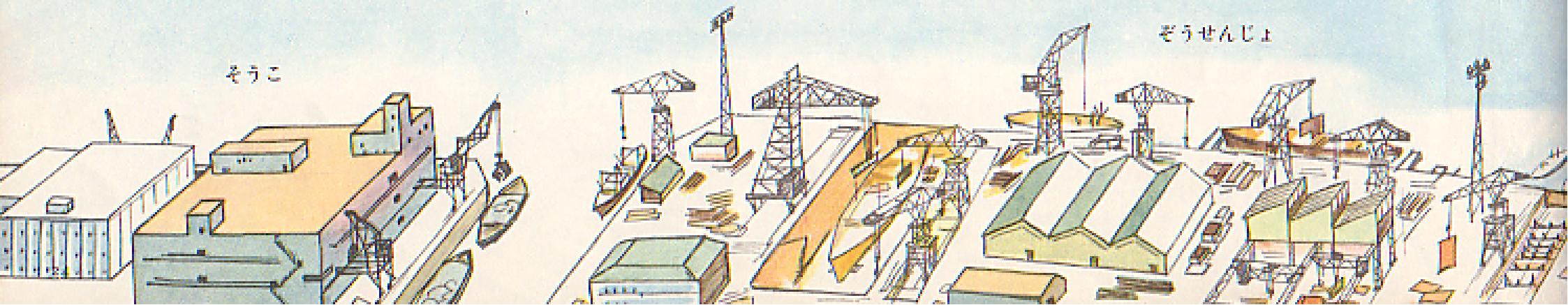
うごいているのか とまっているのか わからないくらい、  
ゆっくり しずかに かわは ながれています。

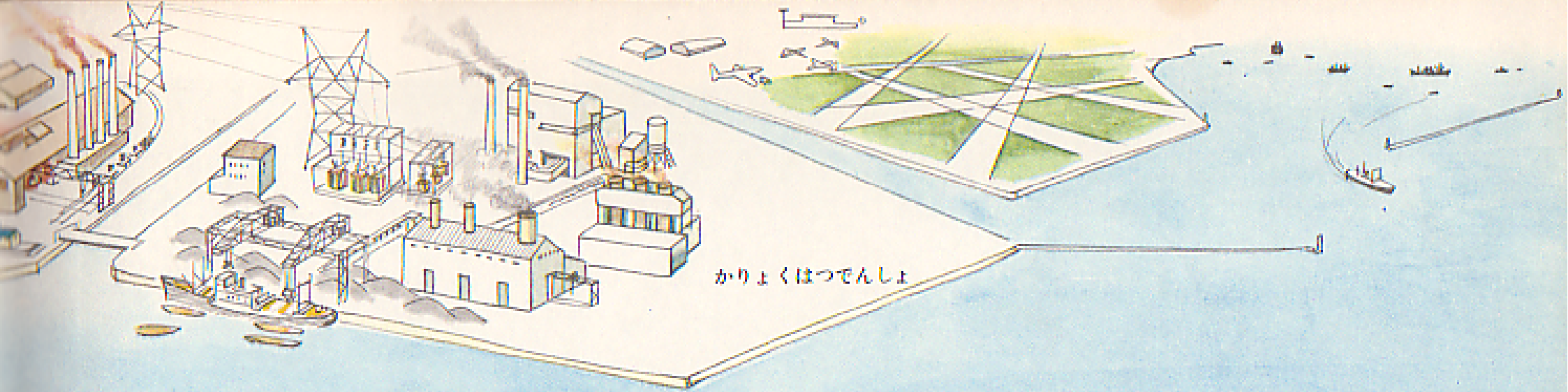
かわしもへ、それから うみへ——

まちの ごみや きたない みずが ながれこんで、  
かわは すっかり よごれてしまいました。

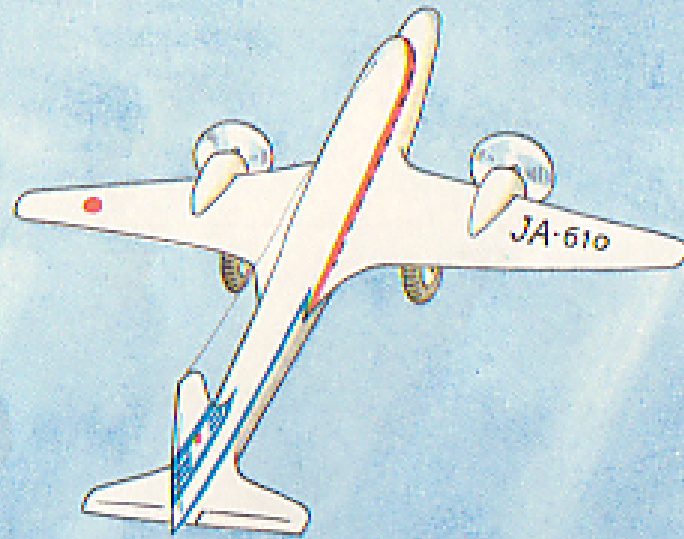
そうご

ぞうせんじよ





かりよくはつでんしよ



うみ!

かわは　とうとう　うみへ　ながれでました。

ひろい　ひろい　うみ。ふかい　ふかい　うみ。

おおきい　おおきい　うみ。

どこまでも　どこまでも　みずの　つづく　うみ。

うみを　こえて　いこう。ひろい　せかいへ――



